



創業・移住支援ポータルサイト「うきはのはなし」特別編 大学生による市内事業所インタビュー

龍宮株式会社

うきは市では、創業・移住支援ポータルサイト「うきはのはなし」の中で市内創業者・事業所の紹介を行ってききましたが、今月から広報うきはの誌面にて久留米大学生による取材記事を掲載していきます。うきは市の様々な産業の魅力をお届けします。

★トップインタビュー



龍宮株式会社
代表取締役社長
梯 恒三さん

★龍宮株式会社の創業の歴史と現在の業務内容について教えてください。

戦後の昭和二十二年、物不足の折、家庭に眠る布団綿から糸を作る特殊紡績を営む会社として田主丸町で創業しました。

筑後川の洪水の後、吉井町に移転、その頃から織物や脱脂綿の製造を始め、昭和三十九年に現在の場所に新工場を建設して現在に至ります。

新工場では、製綿、布団や不織布などの製品の生産を行っています。

その後、約十年の研究を経て平成四年からパシーマの発売を開始しました。平成二十七年には、「ものづくり日本大賞」を受賞するなど、ご愛用頂いている方々のおかげで飛躍を遂げることができました。

★龍宮株式会社のごこだわりを教えてください。

社是は「誠意と努力、技術の向上、生産の奉仕」です。ごまかしをしない、正直なものづくりをしています。技術を磨き、生産で世の中の為になることを目指しています。お客様に喜んでもらうものを作っている喜びを感じながら、従業員一同、同じ志を持ち仕事に取り組んでいます。当社で作られる製品として、主力商品は

「パシーマ」という脱脂綿とガーゼを用いた製品です。パシーマは、もともと、先代の社長がアレルギーを発症し、その対策として、製品を開発したことに始まります。そうして、進化し続け、アレルギーのある方々にも安心して使用して頂けるものづくりを進めてきました。

★会社として挑戦したい、伸ばしていきたいところはありますか。

パシーマやその応用製品がどこまでご愛用頂けるものなのか、国内市場での拡販に力を入れたいと思っています。また、この感触や感覚が世界に通用するものなのか、海外展開にも挑戦したいと考えています。その為の情報発信として、展示販売等を通して出来るだけお客様に製品に触れて頂きながら直接伝えていきたいと思っています。

★うきは市で取り組んでいる事業などはありますか。

約四年前に現在の工場建設から五十年を記念してうきは市と相談して、うきは市で生まれた新生児にパシーマを贈るという取り組みを開始しました。地元への恩返しと、このような企業があり、このような製品が作られているということを知っていただき、子供達が大きくなった時に、また地元で作られているパシーマを使っていたらいいなと思っています。

★これから社会に出ていく若者に対して伝えたいことはありますか。

就職活動で企業を見つづける際、考えていてほしいのは、「聞いたこともない会社」でもそれなりの歴史があり、そこで頑張っている人達がいるということだと思います。名も知らぬ地元の小きな会社にも興味を持って覗いて見て欲しいと思います。企業を調べていくうえで、そのように視野を広げて、自分が今、何かをしたいという気持ちから入っていくけば、目指す方向が見えてくると思います。

★取材を終えて★

お客様の感謝の言葉を大切に、要望やニーズに合わせた商品の開発・改良が自社の工場だけで行うことができることや、地域に根差した活動や取り組みを行っていることなど、今回の企業訪問では中小企業の強みを知ったのと同時に、私の中の価値観が変わる機会となりました。来年から私達も就職活動が始まるので、地元の中企業についてもっと調べなければならぬと思いました。

久留米大学三年生 伊藤 圭汰
終戦直後の創業という長い歴史を持ち、全国的にも少なくなった繊維工業の中でも一貫生産を行う企業がうきは市に存在している事を知りとても驚きました。地元で働き、また、製品を作る際、うきはの豊かな環境からもたらされた良質な水を利用してると伺い、地元の人材と地元独自の資源によるものづくりを行っているからこそ、こだわりある良質な製品が生まれるのだと分かりました。今回の企業訪問で、地元で働く事の良さを学びました。



久留米大学3年 野村 哲也



久留米大学3年 伊藤 圭汰

会社名 龍宮株式会社
所在地 うきは市吉井町新治 278
電話 0943-75-3148
FAX 0943-75-3140
HP <http://www.pasima.com>
この記事に関する問い合わせ先
うきはブランド推進課商工振興係
TEL:0943-76-9095
取材協力：筑後信用金庫

創業・移住支援ポータルサイト

うきはのはなし